

令和6年度 秋の特別企画展  
新発見資料で彩る

魚津だより

魚津居住一年



# 池田彌三郎

# の世界

令和6年9月4日(水) 12月2日(月) ※火曜日休館

## 記念講演会

### 「池田彌三郎の生涯に 日本の未来を見る」

講師：池田光瑠氏 (日本文化研究家)

令和6年9月29日(日) 午後2時～午後4時

## ギャラリートーク

- 9月29日(日) 午後4時10分～ (藤原館長)
- 10月27日(日) 午後4時10分～ (藤原館長)
- 11月2日(土) 午後4時10分～ (担当研究員)

## 高岡市万葉歴史館

〒933-0116 富山県高岡市伏木一宮1-11-11  
電話：0766-44-5511 FAX：0766-44-7335

- 開館時間 午前9時～午後6時 (11月、12月は午後5時閉館) ※入館は閉館の45分前まで
- 観覧料 一般…300円、中学生以下…無料、65歳以上…240円、団体 (20名以上) …240円
- ※協力 池田光瑠・由紀さおり・友尾豊・高志の国文学館



池田弥三郎「魚津だより」構成案

令和6年度 秋の特別企画展

# 池田弥三郎の世界

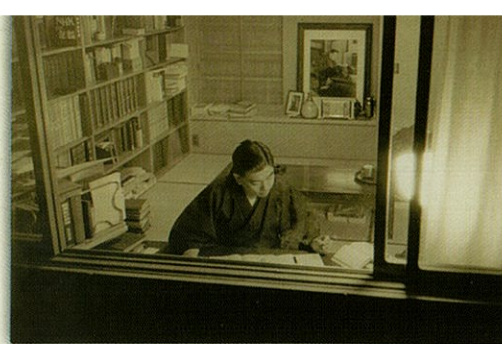
令和6年9月4日(水)～12月2日(月)

東京銀座に生まれ、昭和期において日本国内でも名前を知られた国文学者である池田弥三郎〔大正3年一昭和57年〕は、慶應義塾大学(教授)を定年後の昭和55年に、洗足学園魚津短期大学(教授)に赴任しました。

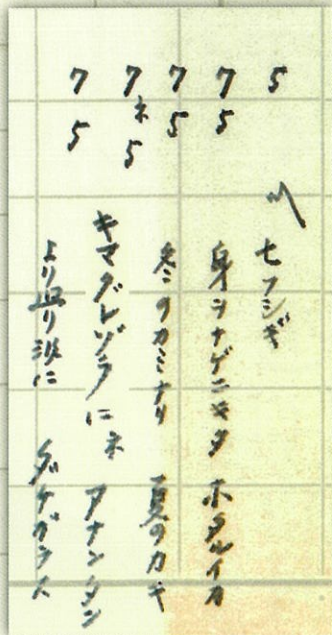
池田弥三郎は師である折口信夫の全集の公刊に尽力し、その講義の膨大なノートを残しました。そして古代学を中心としながら、国文学、民俗学、芸能史、言語文化研究を横断し、古代人の心に迫りました。

その学問の成果は、マスコミ出演やエッセイの執筆、さらにはNHK解説委員・横綱審議委員会委員・日本レコード大賞審査委員といった幅広い活動を通して社会に広く還元されていきました。

本展示を通して、学問と社会との関係を幸多いものとしたその人柄を体感し、写真や自筆原稿、書簡など多くの新発見資料で彩る「池田弥三郎の世界」をお楽しみください。



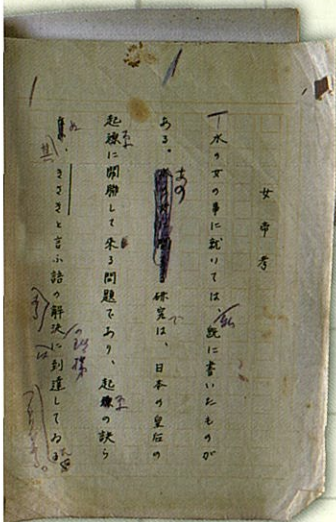
②



④



①



③

## 記念講演会

「池田弥三郎の生涯に  
日本の未来を見る」

講師：池田光瑠氏

(元洗足学園短期大学助教授・  
日本文化研究家・池田弥三郎の長子)

9月29日(日)  
午後2時～午後4時

聴講料：無料 (別途観覧料が必要です)

定員：120名 (事前申込制)

※講演会に参加をご希望の方は、受付または電話等で  
お申込み下さい

## 関連講座

2024 高岡万葉セミナー  
「万葉集と池田弥三郎」

講師：池田三枝子氏

(実践女子大学教授・学長補佐)

藤原茂樹館長

9月7日(土)  
午後1時～午後4時25分

受講料：2,000円 (学生1,000円)

## 関連講座

古代への招待  
「池田弥三郎 人とその著作」

講師：友尾豊氏

(元洗足学園魚津短期大学教授・  
京都産業大学各員教授)

10月27日(日)  
午後2時～午後4時

## ギャラリートーク

- 9月29日(日)
  - 10月27日(日)
  - 11月2日(土)
- いずれも午後4時10分  
から30分ほど。  
申し込み不要。

## 交通のご案内

◆最寄り駅JR氷見線 伏木駅から  
【当館までの距離約1.5km】タクシーで約5分、徒歩約25分

◆JR・あいの風とやま鉄道 高岡駅から  
【バス】高岡駅前(北口)バスのりば のりば④  
加越能バス伏木方面(西回り)・伏木方面(東回り)の  
いずれかに乗車(約30分)し「伏木一の宮バス停」で  
下車、徒歩約7分

【タクシー】約20分  
※「北陸新幹線 新高岡駅」と  
「JR・あいの風とやま鉄道 高岡駅」の間は、JR 城端線または  
バス便があります。(所要時間約10分)

◆お車で  
【能越自動車道】高岡北インターから約20分  
【北陸自動車道】小杉インターから約30分、高岡砺波スマートインターから約30分



- ① 大伴家持像前にて  
歌手・女優の由紀さおりさんと
- ② 二子玉川自宅の書斎にて
- ③ 折口信夫「女帝考」原稿  
池田弥三郎筆記、折口信夫書き入れ
- ④ 池田弥三郎『魚津だより』構成案  
より、(富山)『七フシギ』



高岡市万葉歴史館

〒933-0116 富山県高岡市伏木一宮1-11-11 電話 0766-44-5511 FAX 0766-44-7335  
E-Mail:manreki@takaoka-bunka.com https://www.manreki.com

歴史館の最新情報、日々の出来事はXで 家持くん @manreki いけぬし君 @ikenushi おおいらつめちゃん @oiratsume